

科目名		インテリア実習 II				
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	○	
対象学科		インテリアデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方		インテリアコーディネータ資格試験合格に向けての対策講座です。重要キーワードの解説と問題演習を行い合格へ向けて、知識を高めます。 1. 論文作成→講評→添削と解説を繰り返し行い、2次試験の論文の作成テクニックを身に付ける。 2. 業界のニュース、トレンドを把握し、実務に活かせる知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)		インテリアコーディネートに必要な知識を学習し、適切な選択と提案ができるようになることを目指します。また効果的なプレゼンテーションのためのテクニックを習得します。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①インテリアコーディネーターハンドブック上・下 ②インテリアコーディネーター二次試験過去問題集上・下				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	インテリアコーディネーター二次試験対策 ・テキストの重要ポイント、用語について ・演習問題、確認テストの実施			方法：各分野の出題傾向に基づいてポイントを解説し演習問題、確認テストを実施する。 目標達：繰り返し過去問題等に取り組むことで、知識の定着を目標とします。		
2	二次論文対策－1 (高齢者の暮らす住宅) ・高齢者にみられる身体機能の低下について ・バリアフリーに配慮した計画			方法：用語と重要ポイントについて理解する。 目標達：演習問題に取り組み知識の定着を図る。		
3	二次論文対策－2 (省エネルギーに配慮した計画) ・環境負荷低減を目的とした取組について ・省エネルギーに配慮した設備や材料工法について			方法：用語と重要ポイントについて理解する。 目標達：演習問題に取り組み知識の定着を図る。		
4	二次論文対策－3 (リフォームへの配慮) ・ライフスタイルの変化とリフォーム ・高齢者に配慮したリフォーム計画			方法：用語と重要ポイントについて理解する。 目標達：演習問題に取り組み知識の定着を図る。		
5	二次論文対策－4 (災害、家庭内事故への配慮) ・自然災害に配慮した計画 ・家庭内での事故に配慮した計画			方法：用語と重要ポイントについて理解する。 目標達：演習問題に取り組み知識の定着を図る。		
6	二次論文対策－5 (健康に配慮した計画) ・自然素材の特性や機能について ・安全性と快適性に配慮した計画			方法：用語と重要ポイントについて理解する。 目標達：演習問題に取り組み知識の定着を図る。		
7	二次論文対策－6 (ペットと暮らすインテリア) ・ペットに対応した材料や工法について			方法：用語と重要ポイントについて理解する。 目標達：演習問題に取り組み知識の定着を図る。		
8	二次論文対策－7 (スタイルとコーディネート) ・様々なインテリアスタイルの特徴について ・インテリアスタイルと素材・デザインについて			方法：用語と重要ポイントについて理解する。 目標達：演習問題に取り組み知識の定着を図る。		
9	二次論文対策－8 (コーディネーターの実務) ・リアリングからアフターフォローまでの流れ ・インテリアコーディネーターの職域について			方法：用語と重要ポイントについて理解する。 目標達：演習問題に取り組み知識の定着を図る。		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
課題	平常点	出席率		インテリアコーディネーターの立場として取り組む問題や、業界のニュース、トレンドを把握し、インテリアコーディネーター二次試験合格を目指します。実務に活かせる知識を学習し、即戦力となるようしっかりと課題に取り組もう。		
60 %	40 %	10 %	%			
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		インテリアコーディネーターとして19年実務に携わる				

